

神々が出雲に集う

かみ あり づき

神在月



たいしゃえんむすびず
「大社縁結図」(古代出雲歴史博物館蔵)
歌川豊国(三代)、嘉永4年(1851)、紙本木版多色摺

この絵は、出雲大社に集まった神々の姿を描いています。出雲大社に隣接する県立古代出雲歴史博物館では、出雲大社と地域信仰の資料や、歴史教科書にも登場する古代出雲の銅鐸や銅剣が展示されています。中でも江戸時代の浮世絵師が出雲大社に集まる神々を描いた「大社縁結図」は目を引きます。

旧暦10月は、全国の八百万の神々が出雲の国に集まる月。一般には「神無月」といわれていますが、ここ出雲では「神在月」といいます。

神無月に全国の神々が出雲に集まるという伝承は、平安時代末の「奥義抄」以来さまざまに資料に記されています。神々は出雲大社などに集まり、酒造りや、縁結びについて合議されると民間伝承では伝えられています。

この出雲が誇る「神在月」に、芸術文化やスポーツ、観光などさまざまな分野で交流や賑わいの場を創り、また参加することにより、心豊かな出雲文化を全国に発信していきましょう。(詳しくは、2、3ページ)

主な内容

- 神在月出雲 ……P2~P3
- 出雲駅伝 ……P4
- そばまつり ……P5
- 「平成の大遷宮」奉祝行事 ……P6
- 夢フェスタ in いずも ……P7
- 環境のお知らせ ……P8~P9
- 健康コーナー ……P10~P12
- お知らせ ……P22~